

● おれは最近なやんでいる。
● 全ての音が人の声に聞こえるのだ。
● 例えば、目覚まし時計がなると、ふつう
● 「ジリリリリ」聞こえるが、おれは
● 「おい、おきろー！」にしか聞こえない
● これはまだ良い方だ。
● 学校に行き、じゅぎょうを受けている時
● なんかは最悪だ。
● 先生がチョークでカリカリ黒板を書く
● 黒板「きやー！くすぐったーい！」
● チョーク「ちよ、いたってば！」
● と黒板とチョークがお話を始める。
● おれは、病気になってしまったのか。
● 放課後、だれもない教室で、おれは思
● いきつて、チョークで黒板をコツコツと
● たたいてみた。
● すると、「おい、いたいよ！」と黒板・
● 「ご、ごめん！」とおれ。
● 「まあ、わかればいいんだ。」と黒板・
● そうか、そういうことか。おれは病気の
● なんかじゃなくて、物と話ができるのか
● その日から、おれの人生は大きくかわる
● ものと相談ができるようになったのだ。
● ものと相談ができるようになったのだ。
● 次回へ続く！

問い 1 主人公がなやんでいることは、全ての音が（ ）の声に聞こえる

問い 2 筆者は病気ではなく（ ）